

Gに乗りしIS使い

monnki

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

新任の死神の手違いで死んでしまった、少年「櫻井 武（さくらい たけし）」が、
神のおかげで転生したのは、IS＜インフィニット・ストラatos＞
それ操る事の出来る2人の男子よかつたが、自分と言う「イレギュラー」
所属不明機にガンダムタイプのISを持つオリ主が原作キャラと
協力などをして倒していく作品です

ガンダムAGEやSEED DESTINY出てくる機体出す予定なので
興味がある人は見てください。

目

次

プロローグ

主人公設定

I S 設定

16 11 1

プロローグ

「何でしよう……ココは……」

目が覚めたら周りが真っ白な四畳半ぐらいの部屋で、
これでビビらない奴がいたら呼んで来て欲しい。私、自らそいつを説教してやる。

注意深く部屋を見ると、窓も扉も無い。にも拘らず、
密閉された空間にいるはずなのに息苦しくは無い。

「ほつほつほ。目が覚めたようじゃな■■■■■」

バツと背後を振り向く。

そこには…………

「気分はどうじや?」

莊厳な空氣を纏つた、老人が居た。

いつの間に、俺の後ろに出てきたんだ?

……いや。

よく見てみれば、老人の背後には白い空間が裂けてできたような切れ目がある。

「ええっ!! 神様ッ!! ——といいますか、私は死んでいるのですか!?

「残念じやがのう」

何とこのお爺さんは、神様らしい……自称。

「自称ちやうわい」

思考を読んだ……ですって……。ま、まあ一億歩ゆずつて其れが真実だとして、お爺さんが言うには、私は死ぬはずじやなかつたんだと。

「何だ、それはツ！」となるが、何でも私は事故にあつて病院に運ばれた後、心停止し、医師達によつてAED（電気的除細動）で蘇させようとしたららしい。

その際、本来ならば蘇生できていたはずなのだが、偶々そこを通りかかった新任の死神が躊躇、私を手違いで殺したらしいのです。手違いで殺されるとは……。

「ワシの部下がスマンことをした。

代わりと言つては何じやが、転生させてやるぞい。ある程度の願い事なら叶えてもやる。」

「じゃ、じゃあ生き返らせてくださいっ！」

願いが叶うのは非常に魅力的ですが、あれだけ努力して研究者になつたのですからやはり前的人生に未練がありますしね。

「うむ、それ無理」

あつさり断言されたつ!?

「残念じやがその願いは無理じやよ。生き返らすことは可能じやが、既におまえの身体は臓器移植に廻されておる。

おまえ、ドナーカード持つてたじやろ?」

そういうえば、そんなカードも持つてましたねえ……。仕様がない……のか……?

「そこで、お主には提案があるのじやよ」

「——そういうえば、心は読まれるんだつたつけ……」

「……、プライバシーもなんもない空間だな、本当に。

「ほつほつほ、そんなに気にするでない」

「流石に気になる。で、提案つて？」

「転生、じゃよ」

「転生?」

転生つて、あの転生か?

違う世界に行くっていう……。

「うむ、その通りじゃ」

この提案受けるか? ——その問いかけに、俺は。

「……受けるよ、神さま」

少し考えた後で結論を出した。

正直なところ、違う世界に行くことに夢を見てないとは言えない。

それに一度死んだ身だ。少しくらい自分の欲に素直になつてもいい気がした。

「行く世界ってのは、決まつてるのか？」

「いや、特には決まつておらんよ。ただ——」

「ただ？」

「死ぬ直前のお主と関係ある場所でなければならん」

神さまが手を差し出すと、その上によく見覚えのあるバッグが現れた。しかも浮いてる。

俺の使っていたバッグだ。今朝つた買った書籍やゲーム、マンガなどが入つていた。

「さて、どうする？」

「狩ゲーの世界か、ＩＳの世界、ナ〇トの世界」

まず狩ゲーは候補から消した。
だれもあんな常時危険いっぱいの世界に行きたくは無い。文化レベルも違すぎる
し。

となるとISなんだが……。

「ISで」

「ふむ？ いいのかの？」

「ああ。好きな世界だしな」

メカ系統は大好きだ。

なら、それが達成される世界はそこしかない。

「わかつたぞい。それでは次じや。なにか、欲しいものはあるか？ 物でも能力でもな
んでもいいぞ」

ISの世界で必要なもの……。

(1) 憧れでもあるキラ・ヤマトの容姿・能力・知識・経験。ついでにMSの科学技術

の知識も。

- (2) Xラウンダーになつてゐる体質
- (3) 拡張領域が多いストライクフリーダム
- (4) 広い住居・ISを収めておく地下格納庫がある家
- (5) 光学迷彩で見えなく、MS開発できる島
- (6) 答えを出す者の能力と地球の本棚

――をお願いしてみましたが、十分反則気味ですけど大丈夫ですかね?

「うむ。この程度なら可能か不可能かと訊かれれば、十分可能じやな。ただし、幾つか修正しなければならん箇所があるが……」

「どなでしよう?」

「そうじやなあ……(1) の内容じやが、知識はあつても恐らく何かを造る時、其れに合う材質はないじやろう。

異世界の技術など存在していないから。その世界に見合った知識も植えつけて置くわい」

「(6)についてもじやが、異世界など違う世界に干渉する技術については閲覧、回答出来んから

そのつもりでな。」

「あと I-S に A-I を付けとくぞ、キラ・ヤマトでどうじや」

「ありがとうございます。I-S の件はそれで、お願ひします」

「他にも所々修正を加えるが、悪いようにはせんぞ。何せワシらが全面的に悪いから
のう、フォツフオツフオツ」

「それとこれじや」

と葵い羽が付いたペンドントを首にかけて貰つた。

「まあ、よろしく頼みます」

「早速じやがあちらの世界に行つてもらうぞい。」

神さまが俺を指さし。

言い終わる前に、神様が指を鳴らすと体が足先から徐々に消えていき、意識も一瞬途切れ、

——目が覚めると、見た事もない広いリビングの中央に立っていた。

主人公設定

主人公設定

名前 櫻井 裕樹（サクライ ユウキ）

年齢 15歳

容姿 身長158cm

茶髪で、かなりのイケメン

普段は髪はストレートで、目は普段は眠そうにしているが、
気分や人格によつて目つきが変わつたりする。

性格

わりと優しいが、友人をバカにされると
かなりキレる

趣味　　甘い物巡り　　家事　　機械いじり　　地球の本棚に潜ること

好きなこと　　面白いこと、気分が良くなること

食べ物　　うまいと感じるもの、気分が良くなるもの

人　　姉貴　　束

嫌いなこと　　面倒くさいこと、気分を悪くすること

食べ物　　納豆

人　　調子に乗った人、恩を仇で返す人、
裏切る人、見下す人、眠るのをじやあまする人

得意なこと 家事 お菓子作り

特典

(1) 憧れでもあるキラ・ヤマトの容姿・能力・知識・経験。ついでにMSの科学技術の知識も。

(2) Xラウンダーになつている体質

(3) 拡張領域が多いストライクフリーダム

(4) 広い住居・ISを収めておく地下格納庫がある家

(5) 光学迷彩で見えなく、MS開発できる島

(6) 答えを出す者の能力と地球の本棚

◇裕樹の道程

幼少期に裕樹の異質の力に恐れ、両親が消失し人間不信に陥るが近くに住んでた櫻井家の養子にかなり改善された。

知能の方の高い事が分かり、櫻井家で経営している会社の研究所の技術主任を務めるほどの天才。

原作キャラとの接点は、櫻井家の姉、櫻井 梨宮（さくらい りく）が千冬と束の幼なじみで織斑 一夏と篠ノ乃 篓と過ごしMS開発できる島で束とIS開発もしたこともある。

中学時代の1年に櫻井家の夫婦が事故で亡くなり、姉が社長に就任し、ある程度手助けをしている。2年の時には『白騎士事件』が起きてねその一件以来ね、束さんに軽く拉致られましたよ。で、その後本当に色々と。世界各国を周り束の元で修行中。その過程でISの起動させ

一夏が「IS学園」入学に際し、東に「IS学園」に強制入学させられる。

IS 設定

IS 機体名 ガンダム
第5世代

武装
・電磁レール砲 × 2
・ビームサーベル × 2
・ビームライフル × 2
・カリドウス 複相ビーム砲 × 8
・スーパードラグーン × 2
・ビームシールド × 2

後付
武装

．
?????????

見た目もスペックもストライクフリーダムと一緒に主人公が開発した世界初のビーム兵器

主要武器はライフルでISのビームライフルは通常のISの装甲を一撃で破壊する威力を持つほか、

ビームライフルを前後に連結することで、より高出力の「ロングレンジ・ビームライフル」としての使用も

可能だが、00のクアンタ見たくドラグーンを「ロングレンジ・ビームライフル」にドラグーンを連結させ

ロングレンジ・ビームライフル以上の威力を出すこと可能。

しかもISの売りは、「スーパードラグーン」で、変幻自在のオールレンジ攻撃能力を獲得し、マルチロックオンシステムによる同時攻撃能力は現行ISを上回っている。空間認識能力に依存しないドラグーンを開発に成功したが、しかし、

ベースとなつたドラグーンとは異なり、

その制御を担うパイロットには高度な空間認識能力が不可欠であり常人には不可能といわれる情報量の処理を要求するため、

主人公でなければ性能を最大限に発揮させることは不可能である。これらの情報需要に対応するため、本体頭部の複合センサーは多層マルチアレイ化され、

情報処理能力を強化されている。しかもガンダムAGE出てくる「AGEシステム」を搭載している最強の機体の一つ